

**東日本屈指の流通拠点  
アクセス抜群の工業団地**

高崎市は本州の中央に位置し、関東、上信越、北関東自動車道の3本の高速道路が通り、上越、北陸新幹線の2本の新幹線が集中する国内有数の内陸拠点です。この立地を生かして、高崎駅から約7km東に位置する、関越自動車道の高崎玉村スマートインターチェンジ付近に、「高崎スマート・C産業団地」を整備。金

高崎市は、市内企業の海外販路の開拓や、ビジネス機会の創出を支援する「高崎ものづくり海外フェア」を2014年から、アジア経済の中心都市シンガポールなどで開催しています。日本の都市が単独で海外商談会を開くケースは珍しく注目を集めています。また、東南アジア全域から製造業関係者が集まる国際展示会「インダストリアル・トランスフォーメーションアジア・パシフィック（I-TAP）」にも出展し、市の優れた製造技術をPR。参加者からは、「中小企業1社では海外の展示・商談会への参加は難しい。貴重な機会です」という声や「具体的な取引の話ができた」という声も。

また、JR高崎駅直結のビルに、2018年、ジェット口群馬貿易情

**国際展示会や駅直結の「JETRO高崎から海外市場へ」**

属加工、食品製造など多くの企業が進出しています。また、スマートインターチェンジから2km西の地点に新たに「高崎354複合産業団地」を整備。ビジネスの街としてさらに進化を続けています。

**Supporting the business city of Takasaki  
The power of “monozukuri.”**

Takasaki, located in the center of Japan's main island of Honshu, is one of the leading inland bases where three highways and the Shinkansen train line pass through. A new industrial park has been developed, and many companies such as metal processing and food manufacturers are expanding into the area. Since 2014, overseas fairs have been held to develop overseas sales channels and create business opportunities. As this city of business continues to evolve, the distance to overseas markets is steadily shrinking.

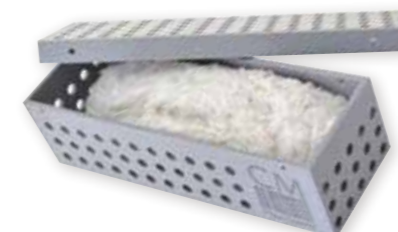


廃棄物の焼却装置を造る企業は、乾溜ガス化燃焼方式による廃棄物燃焼装置を世界で初めて開発。ダイオキシン類の発生を抑制し、環境保全にも貢献。欧米やアジアで特許を取得

**ビジネスの街・高崎を支える  
“ものづくり”のチカラ**



電子部品を主に扱う企業は、通常の光無線通信に比べ、通信速度が約10倍速い、LEDによる高速通信技術を独自に開発。ノイズや悪天候に強く、監視カメラの通信網などに使われている



市内の事業者が手掛ける水冷式の空調などで循環する水をきれいにする製品「CMファイバー」。省力化にも有効で、環境への意識が高い海外でも注目を集めている



自動車部品を製作する企業は、ターボチャージャーなど、形状が複雑なため製造・加工が難しい物でも、大小さまざまな大きさを作る技術を持つ



機械・油圧プレス機の専門メーカー。写真は世界最大級を誇る製品で、厚さ最大100mm、長さ最大13.5mの鋼板で巨大な部品を作ることができる